

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価

令和5年 2月 14日

学) 田名橋学園 和田幼稚園

## 1. 本園の教育目標

「あかるく、たくましく、かんがえる創造性豊かな人格形成の基盤を養うことを主な方針とする」

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

「あかるく たくましく かんがえる」豊かな環境の中で一人一人の幼児を大切にした質の高い教育、保護者とともに子どもたちの成長を分かち合える開かれた幼稚園を目指す

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	組織運営「つながり」	B	業務改善を職員間で行い、持ち帰り仕事等が減少。福利厚生等を含め、働きやすさにつながった。
2	保育の質向上(保育者の質向上)	B	園内研修での外部研修の活用等
3	保育環境の見直し	B	子どもとの対話、保育者の環境構成をさらに活性化

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	職員間の心理的安全性を確保し、保育環境を見直し、保育の質を向上することを目標に一年間取り組んできた。令和5年度は、『「保育の面白さ、すばらしさ」を仲間と分かち合おう』を目標に、保育を通してチームワークを構築していく。

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子ども的人権	「温かい眼差し」 ハラスメントの理解、「一人一人を丁寧に保育するとは」
2	心理的安全性 多様性の尊重	「心理的多様性を豊かにする組織づくり」「学び続ける組織づくり」 勤務時間の確認、有給休暇、意識改革「お互いさま」の精神、相互尊重
3	保育内容 環境構成(しかけ)	「対話」と「環境構成(しかけ)準備」(そして振り返り) 玩具と絵本の活用(玩具や絵本の実践)(保育者間で共有) 園内研修での対話の機会を増やしていく

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

3月6日に学校関係者評価委員の皆様に見学していただきました。

- ・「保護者・地域・子どもたち」に園を開いていく
- ・環境構成について(別紙)  
研修の機会が、気づきの場になっている。  
保育環境については前年よりもよくなり、子どもたちが落ち着いて遊びに集中している姿が見られる。
- ・環境保育について
- ・保護者支援  
園の沿革を説明会等を使い、保育や子どもを理解する場をつくる  
保護者と話し合える時間を作る
- ・健康と身体について  
食育の大切さを乳幼児期の大切な時期だからこそ、園を通して伝えていく